

暖房器具による火災を防ごう！！

冬の生活に暖房器具は欠かすことのできないものです。暖房器具による火災のほとんどは、取扱いや管理上の不注意によるものです。暖房器具による火災を防ぐためには、安全な取扱い方法をしっかりと確認し、使用する前には必ず点検しましょう。

暖房器具火災を防ぐポイント

1 暖房器具で洗濯物を干すのをやめましょう。

- ・暖房器具の上に洗濯物を干していませんか？
- ・洗濯物が乾くと暖房器具の上に落下し、火災になるおそれがあります。



2 給油は必ず火を消してから行い、給油タンクのキャップはしっかりと閉めましょう。

- ・火を消してから給油していますか？
- ・給油タンクキャップの閉め方が不十分な場合、灯油が漏れて火災になるおそれがあります。



3 就寝や外出する時は、暖房器具のスイッチを切るようにしましょう。

- ・布団の近くで暖房器具を使用していませんか？
- ・就寝中に布団などが暖房器具に接触し、火災になるおそれがあります。



4 暖房器具の周りには燃えやすいものを置かない。

- ・風にあおられたカーテンが、暖房器具に接触したりすることで火災になるおそれがあります。



住宅用火災警報器は設置していますか。

設置している住宅は点検・交換が必要です。

- ・住宅には、住宅用火災警報器の設置が**義務**となっています。
- ・住宅用火災警報器は、**点検**が必要です。
- ・住宅用火災警報器は、**約10年**が交換の目安です。



防火に関するご相談は、松任消防署川北分署まで Tel 277-9119